神楽を披露する歌糸神楽保存会のメンバーら
（20日、宮崎市）

三川内神楽

県総合博物館で公演

11月は霜月祭 5保存会が奉納

10/21

延岡市北浦町の三川内神楽保存会は20日、宮崎市神宮の県総合博物館民家園で神楽講座と公演を行った。県の「神話のふるさと県民大学」の一環。三川内神楽ならではの軽妙な音に誘われて、会場には100人を超える人たちが訪れた。

「三川内神楽を体感する」というテーマ。歌糸神楽保存会（甲斐龍会長）と、三川内神楽まつり実行委員会の14人が参加して、「地割」や「戸取り」など5番を奉納した。

三川内小2年の山本心翔さん、同6年の宇藤菜々子さん、旭小6年の福永薫琉さんも立派な舞を披露し、大きな拍手を受けていた。

担当した県文化財課の徳田尚文さんは「一般の県民にも広く親しんでもらう目的。これをきっかけに、現地の祭りに足を運んでほしい」と話していた。

11月10日は城山城址（し）二の丸広場で城山かぐらまつりがあるが、延岡市北浦町の三川内地区は霜月祭りの季節。5地区でそれぞれ神楽が奉納される。よど（前夜祭）の神楽とまつりの日程は次の通り（都合で変更の場合あり）。

歌糸（菅原神社）＝2日午後7時から、3日正午から▽大井（三川内神社）＝2日午後6時から、3日午後1時から▽梅木（鴟尾神社）＝9日午後4時から、10日午後1時から▽市尾内（菅原神社）＝16日午後7時から、17日午前10時から▽下塚（下塚公民館）＝23日午後7時から、24日午前10時から

2019.10.21

あゆやなどPR

一日観光大使の谷口さん

延岡観光協会

あゆやなど延岡の観光PRのために、延岡観光協会は19日、旭化成キャンペーンモデルの谷口桃香さん（18）を一日観光大使に委嘱した。委嘱を受けた谷口さんは、延岡を食や観光をテーマに大学生らと意見交換したり、市民や観光客らにパンフレットを配布するなどした。

委嘱状の交付式は、延岡市大貫町の食の拠点施設「かわまち交流館」（大瀬大橋下流左岸）前の広場であり、同協会の木村邦子副会長が委嘱状を手渡したのに続き、吉岡由華副会長がたすきを谷口さんの肩に掛け、情報発信を依頼した。

意見交換には、谷口さんと若鮎（あゆ）レディの大島桃子グレースバタリオさん（27）、延岡市で地域実習中の大正大学地域創生学部の大学生、協会の役員らが参加。大学生が魚介類やチキン南蛮など食のおいしさや豊かな自然など、外からの目線で気付いた延岡の魅力を次々に挙げた。

大島さんは「当たり前と思って、魅力に気付かないことがある。外からの視点で延岡の良い点を積極的に伝えてほしい」。谷口さんは「延岡は自然がいっぱいで食もおいしく、観光もたくさんある。SNSにアップするなどして、延岡の魅力を広めたい」と話していた。

谷口さんと大島さんはこの後、かわまち交流館で、雄大な大瀬川の流れを楽しみながらアユを味わう市民や観光客らに観光パンフレットを手渡し、延岡の魅力をPRした。

延岡の観光をPRする谷口さん（19日、かわまち交流館で）

2019.10.21